

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

一般の部

奥の細道
むすびの地
大垣



令和四年八月度 入賞句一覧 投句数 四百五十三句

特選

度会 さち子 選

トマト挽ぎ朝日丸ごと食らひたる 大垣市 高田 雅章

真つ赤に熟れたトマトはまさに太陽のよう。早朝の畑で、トマトを齧るとまさに、朝日をまるごと食べるようと、野趣あふれた作品。早朝のすがすがしい空気の中を、自家農園をみてまわる作者の野菜づくりを楽しんでいる姿もみえてくる。

漁り舟待つ少年に大西日 大垣市 白井 秀子

岸壁で、父の舟を待っている少年のシルエツトが浮かぶ。無事に帰ってくるだろうか。漁獲はどうだったか。大西日に染まったあかあかとした海をながめながら、そんなことを気にしつつ待つ少年。きっと彼は父の後をついで漁師になるのだろう。物語を感じさせる句。

コスモスの一氣に揺れてゐる不安 愛知県名古屋市 舘野 茂子

風に揺れているコスモス。でも今の世は、コロナ、戦争、豪雨、地震、政情。何かと不安で落ち付かないことがいっぱい。普段は風にやさしく吹かれているコスモスが一氣に風に沸き立つ。不安が押し寄せたのか。作者にも不安が募っているのだろう。心象的な句。

秀逸

玉砂利に浄衣の風や夏祓 不破郡垂井町 石井 直実

七夕や厩舎に低くジャズ流る 養老郡養老町 佐藤 咲楽

万緑や飛行機雲の消える先 海津市 水谷 勲一

穴遣し衣を遺して蟬生る 不破郡垂井町 児玉 正巳

白桃やはずかしさうに色づきて 大垣市 宮脇 和子

山下りる一番星と夕菅と 大垣市 小林 研

箱庭や炭坑節の聞こえ来る 神奈川県川崎市 立野 音思

朝風をすなほに透かし猫じやらし 安八郡神戸町 高橋 泰

父の手を握る夜店の流れかな 神奈川県川崎市 佐藤 廣枝

シエルターも爆音も無くミシン踏む 不破郡垂井町 小坂 久美子

入選

一村の音消してなほ男滝

逆光の家守見上げし肘まくら

下り来て揚羽と同じ水を飲む

手花火や代わりばんこの黙がある

風音をそつと包みて夏落葉

水澄むや星に音色のひとつづつ

風鈴の青錆ふかき音色あり

夏雲に乗つてみようか五時間目

遠ざかる一輛電車や青田風

強面の雲海樹海夏の富士

水匂ふ青田へ開く裏の木戸

みづぎはにみづいろの風秋に入る

夕立や迎えの妻の男傘

レース着て妻に女の矜恃あり

古疵をそつと畳んで更衣

手をつなぐ子の手に力日雷

遠雷や幼馴染の揃ふ通夜

被りみる母の遺せし夏帽子

心太雨は物足りなく上る

汗光る猫車押す怒り肩

本巢市

小泉 裕子

大垣市

栗原 利香

東京都世田谷区

関戸 信治

東京都北区

菱沼 多美子

不破郡垂井町

川瀬 慶泉

養老郡養老町

佐藤 咲楽

不破郡垂井町

竹嶋 富美子

愛知県稲沢市

中島 美恵子

福井県敦賀市

山田 美千代

大垣市

高津 喜久子

大垣市

田中 雅子

愛知県名古屋市中

舘野 茂子

揖斐郡大野町

横山 道男

愛知県西尾市

金子 恵美

大垣市

高津 喜久子

大垣市

村瀬 佐智子

三重県四日市市

藤田 勝民

岐阜市

富永 萬里

愛媛県松山市

平野 ヒサエ

神奈川県横浜市

龍野 ひろし

一般の部

選者吟

向日葵にずしりと落暉遠伊吹

さち子

